旭川市報道依頼

各報道機関　様

発表日	平成３０年７月９日
発信課	経済部旭山動物園
担当者	鈴木　悠太
連絡先	電　話　３６－１１０４
	ＦＡＸ　３６－１４０６
	E-mail　yut_suzuki@city.asahikawa.hokkaido.jp

分　　類	イベント･行事 募集　契約･入札　会議･説明会　その他 （該当する分類を囲むこと。）
日　　程	７月１３日（金）１３：３０～１４：００
発表項目 （行事名）	「自然体感！あらうんど大雪パートナーシップに関する覚書」に関する共同記者発表
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	１ 趣　旨 大雪山連峰を囲む地域を核に，自然や自然環境を題材にした体験活動や教育活動，食や文化と自然との持続可能なつながりに関連する取り組みをとおし，自然の魅力や自然環境の大切さを伝え，人と自然が共生できる未来を築いていくため，パートナーシップとして連携して取り組むこととし，覚書を平成 30 年 6 月 25 日に締結しました。 つきましては，次のとおり記者発表を行いますので，取材及び報道方よろしくお願いします。 ２ 内　容 (1)日　　時　平成 30 年 7 月 13 日(金)13：30～14：00 (2)場　　所　旭川市旭山動物園　東門管理事務所　会議室 （お車でお越しの際，東門無料駐車場を御利用ください。） (3)内　　容　覚書締結に至った経過，取組の概要 (4)出席団体　旭川市旭山動物園，国立大雪青少年交流の家， 然別湖ネイチャーセンター，認定 NPO 法人どんころ野外学校 (5)その他　覚書に関する内容は別紙のとおりです。 具体的取り組み内容については，当日，資料を配付予定。
添付資料	有　・　無 （有・無のいずれかを囲むこと。）
報道（取材）に当たってのお願い	
備　　考	

別紙

自然体感！あらうんど大雪パートナーシップの締結について

平成３０年　７月１０日
旭川市旭山動物園

１．覚書締結の目的

大雪山連峰を囲む地域を核に，自然や自然環境を題材にした体験活動や教育活動，食や文化と自然との持続可能なつながりに関連する取り組みをとおし，自然の魅力や自然環境の大切さを伝え，人と自然が共生できる未来を築いていくため，パートナーシップとして連携して取り組むこととする。

２．概要

本園では，動物の魅力発信やレクリエーションの場の提供のみならず，自然や動物を通して自然環境の大切さを伝えるために関連団体と連携し，積極的に事業を実施している。

このような取組を広げていくことで，自然環境のつながりや自然環境の大切さを多角的な角度から伝え，修学旅行をはじめとした旅行者の旅行行程の１つとしての定着に繋げ，本園はもとより，道北圏域全体への交流人口の拡大を図っているところである。

今後においては，動物及び森・山・川をはじめ，自然を構成する様々な環境で活動している団体及び食や文化と自然との持続可能なつながりに関連する取り組みの活動している団体を取り入れた幅広い内容を提供するため，大雪山国立公園を囲む地域を核とした連携を図ることとし，取組を線から面（＝圏域全体）へ進化させ，更なる効果拡大へ繋げていく。

３．連携の主な内容

（１）施設・団体間における情報の共有と発信
（２）施設・団体に所属する職員間の連携協力関係の構築
※当面の具体的な方向性としては，情報の共有と発信に取り組むこととし，各団体のイベントなどの情報の一元化を行うとともに，HP や SNS などを使用した広報活動やスタンプラリーなどの連携を予定。

４．覚書締結団体

（１）旭川市旭山動物園（旭川市）
（２）NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾（富良野市）
（３）国立青少年振興機構　国立大雪青少年交流の家（美瑛町）
（４）株式会社　北海道ネイチャーセンター　然別湖ネイチャーセンター（鹿追町）
（５）認定 NPO 法人どんころ野外学校（南富良野町）
（６）NPO 法人大雪山自然学校（東川町）
（７）オリックス自動車株式会社